

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会で用いられている AI 等のテクノロジーが持つ機能や役割、実例などの基礎的な情報を自分の言葉で説明することができる</li> <li>・簡単なプログラムを使って実際に AI を動かすことができる</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的課題について調べ、AI 等のテクノロジー活用した解決方法を提案することができる</li> <li>・AI が人々、社会にとって正しく活用されるための倫理的判断をすることができる</li> <li>・テクノロジーが人間個人、社会に与える影響を考察することが出来る</li> <li>・上記事項について、他者に適切に提示/説明することができる</li> </ul> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AI や新たな技術開発、イノベーションについてより深く知ろうとし、それをういて解決しようとする姿勢を持つことが出来る</li> <li>・社会的課題に向き合う中で、AI などに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、人間の本来の生き方について追求することができる</li> </ul>	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①AI とはどのようなシステム、プログラムで成りたっているのか。AI についての概要を説明できる。</li> <li>②社会で利用されている AI の活用例について知る。</li> <li>③AI に関係するプログラミングについて学び、操作できる。</li> </ol> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①SDGs の到達目標達成のため、身近にある解決すべき具体的な課題について現状や原因などを総合的に述べる事ができる</li> <li>②SDGs 到達目標達成のため、身近にある解決すべき問題の解決策を考えることができる</li> <li>③解決策において AI の特性を理解して解決策を考えることができる</li> <li>④グループの考えを他のメンバーにわかりやすく示すことができる</li> <li>⑤他のグループや個人の意見に対して、本質的な質問や議論ができる</li> </ol> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①個人の考えをグループで共有しグループとしての考えに昇華・統合できる</li> <li>②AI の利用により発生する倫理的問題について理解し、本質的な議論や対策の検討ができる。(自由やプライバシー、人権などの概念との関連性)</li> </ol>	

授業日	5/9(火)	1 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回		
本時 学習 目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤ 【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・ AI の基礎的な理解のために、グループで情報収集・論理的な組み立てを行い、効果的な発表ができる ・ 同じテーマに取り組んだ他のグループの発表を通じ、AI の基礎について多面的に理解する ・ 他のグループの発表に対して、自分の AI に対する理解と比較しつつ、質問することができる。				
時間 授業内容	5 分	前回授業の学びの記録返却と記述についての説明 フィードバック			
	5 分	AI 相互授業のタイムテーブル説明			
	90 分	各班順番に AI の相互授業 10 分ずつ行う 発表後 7 分程度、生徒・教員からの質疑応答 全 5 班の授業を行った。			
評価方法	4月25日(火) AIとは? 相互授業評価				
		3	2	1	0
目的	①授業の内容を聞き手に伝えられたか	授業の内容を明確に聞き手に示し、完全に聞き手に伝えることができた。	授業の内容を聞き手に示し聞き手に伝えられた部分があった	授業の内容を聞き手に示したが聞き手に伝えられなかった	授業の内容が聞き手に示せなかった
内容	①調査 ②目的に沿っている	目的に沿った内容で十分に調べられている テーマに対して、深い理解に基づき材料が準備されている	目的に沿った内容で調べられている テーマに対して必要な知識、材料が準備されている	内容が不足している テーマに対して知識、材料の準備が不十分	内容が全く不足している
構成	①論理性 ②適切な量 ③展開 ④まとめ方	十分、論理的に構成されている 導入や展開が非常に効果的、よく工夫されている 簡潔にまとめられている	論理的に構成されている まとめが不足している	論理的な構成が少し不足している 論理的なつながりが不足している	論理的な構成ができていない
生徒の活動	①対象の主体的な学び	聞き手の主体的な活動が効果的に組み入れられている	聞き手の活動は組み入れられている	一方的な知識伝達になっている	
資料	①文字の大きさ ②図表の的確さ	十分に読得力ある資料である	読得力ある資料である	読得力が不足している	読得力がない
授業姿勢 パフォーマンス 進行	①視線 ②声量 ③スピード ④準備	堂々と微収を見ながら声量も十分に適切なスピードで授業できた 十分に準備されている 台本などを見ずに進行できている	視線や声量、話すスピード共に一定のレベルに達している ひと通りの準備がうかがえる	視線、声量、話すスピードを改善する必要がある 進行の準備が不十分である	授業をする態度全体を大きく改善する必要がある
時間		時間配分が適切である 9分30秒~10分	ほぼ時間内である 9分~10分30秒	時間が少し超過している、あるいは少し短い ~9分、10分30秒~	時間が大幅に超過している あるいは大幅に短い
宿題指示	「学びの記録」を週末金曜日までに提出する。				

各班の授業内容について上記ルーブリックにて評価を行う。(教師 2 名で)

今回は発表を聞く生徒には、発表内容に集中させるためルーブリックによる評価はさせていない。